

2023(令和5)年度 自己点検・評価報告書  
検証結果報告

令和6年4月1日

東京医科大学内部質保証推進委員会

従来から本学における中長期計画と内部質保証の連関性について、学外だけでなく学内からも「二つの連関性が不明瞭」と指摘をいただいております、両者の適切な運用について模索してきました。

中長期計画は立案されたものが不変のまま進められるのではなく、遂行する中で顕現する様々な課題を「内部質保証のシステム」の中で、2つの視点で修正・改善していくことが必要で、一つは「定量的な指標」をもとに到達度を検証し、その到達度から中長期計画を見直すこと。もう一つは、大学基準協会、医学教育分野別評価、看護学教育評価、内部質保証外部評価委員会、中長期計画外部評価委員会等の「外部評価機関の評価」を基にした、計画の妥当性の検証である。

つまり、中長期計画が円滑に遂行できるように内部質保証が定義されており、この2つの組織が統合して運用されなくてはならない。これが実現して初めて中長期計画と内部質保証の連関性が保たれ、いわゆる「表裏一体」の関係となる。このことから、今年度から中長期計画との連関性を示す欄を設けた。

他方、現状の中長期計画と内部質保証は、それぞれ項目のフォーマットが異なることにより現状での完全な統合は困難であるのが実情である。2026年度からの新しい中長期計画の立案に向け、中長期計画と内部質保証の運用の統合が急がれる。

次ページ以降に各基準ごとの評価を記した。評価は「適合」、「適合(コメントあり)」、「改善課題」、「評価不能」の4つとした。

- (S)適合：評価基準に照らして極めて良好な状態にあり、理念・目的を実現する取り組みが適切である。
- (A)適合：評価基準に照らして良好な状態にあり、理念・目的を実現する取り組みが概ね適切であるがいくつかの課題について改善が望まれる。
- (B)改善課題：評価基準に照らして問題があり、理念・目的の実現に向けて改善が必要である。
- (C)評価不能：評価基準に照らして種々の事由により評価する段階にない。

基準	機関別認証評価の名称	対応する本学の領域名称	評価項目数	適合数	改善課題数	評価不能数
1	理念・目的	ポリシー	8	8	0	0
2	内部質保証	(内部質保証推進委員会)	10	10	0	0
3	教育研究組織	医学科教育課程 看護学科教育課程	7	7	0	0
4	教育課程・学習成果	研究科教育課程	12 ※	12	0	0
5	学生の受け入れ	入学試験	9	8	1	0
6	教員・教員組織	教員評価	10	6	4	0
7	学生支援	学生支援・学修環境	8	7	1	0
8	教育研究等環境		11	10	1	0
9	社会連携・社会貢献	社会連携・社会貢献	8	8	0	0
10	大学運営・財務 (1)大学運営	管理運営・財務	11	11	0	0
	大学運営・財務 (2)財務		7	7	0	0

※本学に該当しない項目(1つ)を除いた数

基準 1 理念・目的（「ポリシー」領域）

NO	項目	中長期計画		評価基準		領域に対する助言・改善の提案
			領域			
1	【Ⅰ】 活動内容が本学の達成基準を達成しているか。			A	適合	
2	【Ⅱ-①】 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	V.(7)①i 〃 ①ii V.(7)②i 〃 ②ii	管理	A	適合	「設定」だけでなく、どの程度「達成」されているかも重要で、定期的に評価している旨をもう少し強調しても良いと思われる。
3	【Ⅱ-②】 大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。	V.(7)①i 〃 ①ii V.(7)②i 〃 ②ii	管理	A	適合	
4	【Ⅱ-③】 大学の理念・目的、各学部・研究科における目的等を実現していくため、大学として将来を見据えた中・長期の計画その他の諸施策を設定しているか。	V.(2)④.i.7 〃 i.1 〃 i.7	管理	A	適合	中長期計画の内容および変更点ならびに達成度や課題などを、教職員に周知する機会を定期的に設けると良いと思われる。
5	【Ⅲ-1】 長所・特色の記載内容は適切である。			S	適合	
6	【Ⅲ-2】 問題点の記載内容は適切である。			S	適合	
7	【Ⅲ-3】 全体のまとめの記載内容は適切である。			S	適合	
8	【Ⅲ-4】 Ⅲ-2とⅢ-3は関連している。			S	適合	

基準 2 内部質保証(※該当する領域がないため、内部質保証推進委員会が担当)

NO	項目	中長期計画		評価基準		領域に対する助言・改善の提案
			領域			
1	【I】 活動内容が本学の達成基準を達成しているか。			A	適合	「PDCAサイクルが有効的に機能」と「分かりやすい情報公開」の一部に未だ課題が残る。
2	【II-①】 内部質保証のための全学的な方針及び手続を明示しているか。	V.(7).③.i.7 " i.I	管理	S	適合	
3	【II-②】 内部質保証の推進に責任を負う全学的な体制を整備しているか。	V.(7).①.i.7 V.(7).②	管理	S	適合	
4	【II-③】 方針及び手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能しているか。	V.(7).①.i " ii V.(7).②.i " ii	管理	A	適合	自己点検・評価報告書の当該箇所について、改善の内容をさらに具体的に記載することが望ましい。
5	【II-④】 教育研究活動、自己点検・評価結果、財務、その他の諸活動の状況等を適切に公表し、社会に対する説明責任を果たしているか。	V.(7).③.i	管理	A	適合	「分かりやすい情報公開」の一部に課題が残る。
6	【II-⑤】 内部質保証システムの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	V.(7).②.i " ii V.(7).①.ii.4	管理	S	適合	
7	【III-1】 長所・特色の記載内容は適切である。			S	適合	
8	【III-2】 問題点の記載内容は適切である。			S	適合	
9	【III-3】 全体のまとめの記載内容は適切である。			S	適合	
10	【III-4】 III-2とIII-3は関連している。			S	適合	

基準3 教育研究組織（「医・看・研教育課程」領域）

NO	項目	中長期計画		評価基準		領域に対する助言・改善の提案
			領域			
1	【I】 活動内容が本学の達成基準を達成しているか。			A	適合	【医学科】 6年生の短期海外実習も再開されることから、国際化への取り組みについて今後の成果を期待したい。
2	【II-①】 大学の理念・目的に照らして、学部・研究科、附置研究所、センターその他の組織の設置状況は適切であるか。	I 共.(2).① I 医.(5).①.i I 医.(5).①.ii I 医.(5).①.iii I 看(5).i I 看(5).ii I 看(5).iii I 研.(5).②.i I 研.(5).②.ii	教育	A	適合	【看護学科】 大学院看護学研究科を設置し、社会的要請に応える人材を養成する課題があるが、設置に向けた方針や計画なども自己点検・評価報告書に記載していると現状がさらに伝わりやすい。
3	【II-②】 教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	I 共.(2).① I 医.(5).①.i I 医.(5).①.ii I 医.(5).①.iii I 看.(5).i I 看.(5).ii I 看.(5).iii I 研.(5).②.i-ii	教育	A	適合	
4	【III-1】 長所・特色の記載内容は適切である。			S	適合	
5	【III-2】 問題点の記載内容は適切である。			A	適合	【全体】 大学院看護学研究科がないことによる問題点については、設立に向けた計画が動き出した。今後は教育の連続性、教育・研究者、高度実践看護師、看護管理者の養成に向けた取り組み等が期待される。
6	【III-3】 全体のまとめの記載内容は適切である。			S	適合	
7	【III-4】 III-2とIII-3は連関している。			A	適合	

基準4 教育課程・学習成果（「医・看・研教育課程」領域）

NO	項目	中長期計画		評価基準		領域に対する助言・改善の提案
			領域			
1	【I】 活動内容が本学の達成基準を達成しているか。			A	適合	【研究科】 DPが改定され、カリキュラムマップが策定されたこと、在学年内に学位取得に至る学生が増加したことは重要な改善であり評価できる。しかし、4年以内の学位取得者が47%なので、さらに改善の余地があると思われる。
2	【II-①】 授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。	I 医.(2).① // ② I 看.(4).③.i.7 I 研.(2).① // ② // ③ // ④ // ⑤ // ⑥	教育	S	適合	
3	【II-②】 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	I 医.(2).① // ② I 看.(4).③.i.7 // ③.i.4	教育	S	適合	
4	【II-③】 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	I 医.(2).①.i // ①.ii // ①.iii // ①.iv // ②.i // ②.ii // ②.iii // ②.vi // ③.i I 看.(2).①.i.7 // ③.i.7 // ④.iii.4 // ④.iv.7 // ④.v // ⑤.i.7 // ⑤.i.4 // ⑤.i.9 // ⑤.ii.7 I 研.(2).①.i // ②.i // ③.i // ④.i // ④.ii // ⑤.i // ⑤.ii // ⑤.iii // ⑥.i // ⑥.ii	教育	A	適合	【医学科】 リベラルアーツに裏打ちされた広い見地と豊かな教養を身に付け、全人的医療を实践すべく、第1学年では「生命倫理学」、第3学年では「医療倫理学」、第2～4学年では「医療プロフェッショナリズム」、第5学年では「行動科学・患者学」の講義が行われている点は極めて評価に値する。一方、各分野の講義内容等については実態が不明であるのと、具体的にどのような成果が挙げられ、効果として表れていくのかについては今後の評価が必要である。

基準4 教育課程・学習成果（「医・看・研教育課程」領域）

NO	項目	中長期計画		評価基準		領域に対する助言・改善の提案
			領域			
5	【II-④】 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	I 研.(3).①.i // ①.i I 研.(3).②.i // ②.ii I 看.(3).①.iii.1 I 看.(7).①.iii.7 // ①.iv.7 I 研.(3).①.i // ②.i // ③.i // ④.i	教育	A	適合	【研究科】自己点検・評価報告書において「6年以内に約86%の者が、4年以内では47%の者が学位取得を実現している」と記載されているが、何%から何%に改善したのか、何%を目標とするかなど、現状を分かりやすく記載するとなお良い。一方で、改善はしたものの、4年以内の学位取得は47%であるため、改善の余地がある。
6	【II-⑤】 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	I 医学.(4).①.i // ①.ii // ①.iii // ①.iv I 看.(4).①.i.7 // ①.i.1 // ①.i.7 // ①.i.1 I 研.(4).①.i // ①.ii // ①.iii // ②.i	教育	A	適合	【研究科】自己点検・評価報告書において、学位論文審査基準に沿った評価表を用いて論文審査の評価が行われていると記載されているが、得点分布を確認するなどして、「厳正かつ適正な成績評価」が維持できているかを継続的に確認していくと良いと思われる。
7	【II-⑥】 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	I 医.(4).①.i // ①.ii // ①.iii // ①.iv I 看.(4).②.i // ②.ii // ②.iii I 研.(4).②.i	教育	A	適合	【研究科】概ね適正に実施されているが、昨年度の自己点検・評価委員会の本項目では「学生の評価は短期的な評価にとどまっており、中長期的評価の仕組みは必ずしも十分ではない」と指摘されている。この点が改善されたのかが不明である。
8	【II-⑦】 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	I 医.(5).①.i // ①.ii // ①.iii I 看.(2).②.iii.7 I 看.(4).③.iii.7 I 看.(5).①.iii.7 I 研.(5).①.i // ①.ii // ①.iii // ②.i // ②.ii // ②.iii	教育	A	適合	【医学科】教育IRセンターが収集したデータを基に、教育課程や内容、方法について定期的に点検・評価が行われている。また、これらのデータが実際にカリキュラム改善や改編に活かされている。一方で、アンケート調査に回答している学生の質には大きな隔たりもあると思われ、調査結果の解釈と、結果を基にした運用に際しては慎重な対応が求められる。
9	【II-⑧】 教育課程連携協議会を設置し、適切に機能させているか。 (学士課程(専門職大学及び専門職学科)/大学院の専門職学位課程)					
10	【III-1】 長所・特色の記載内容は適切である。			S	適合	
11	【III-2】 問題点の記載内容は適切である。			S	適合	
12	【III-3】 全体のまとめの記載内容は適切である。			S	適合	
13	【III-4】 III-2とIII-3は連関している。			S	適合	

基準5 学生の受け入れ（入学試験領域）

NO	項目	中長期計画		評価基準		領域に対する助言・改善の提案
			領域			
1	【I】 活動内容が本学の達成基準を達成しているか。			A	適合	
2	【II-①】 学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。	I 医.(1).①.i.7 I 看.(1).①.i.7 I 博.(1).①.i.7 I 修.(1).①.i.7	教育	A	適合	
3	【II-②】 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学選抜を公正に実施しているか。	I 医.(1).②.i.7 I 看.(1).①.i.7 // ii.7 // iii.7 I 博.(1).①.i.7 // ②.i.7 I 修.(1).①.i.7	教育	A	適合	
4	【II-③】 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	I 医.(1).②.i.7 I 看.(1).③.i.7 I 博.(1).③.i.7 I 修.(1).②.i.7	教育	B	改善課題	・医学科および看護学科のメンタル不調者の是正 ・研究科における入学や在籍学生数の未充足の是正
5	【II-④】 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	I 共.(6).①.i.7 I 医.(1).①.i.7 // ②.i.7 // ②.ii.7 I 共.(6).①.i.7 I 看.(1).①.i.7 // ii.7 // iii.7 I 博.(1).①.i.7 // ②.i.7 I 修.(1).①.i.7	教育	A	適合	
6	【III-1】 長所・特色の記載内容は適切である。			S	適合	
7	【III-2】 問題点の記載内容は適切である。			S	適合	
8	【III-3】 全体のまとめの記載内容は適切である。			S	適合	
9	【III-4】 III-2とIII-3は連関している。			S	適合	

基準 6 教員・教員組織（「教員評価」領域）

NO	項目	中長期計画		評価基準		領域に対する助言・改善の提案
			領域			
1	【Ⅰ】 活動内容が本学の達成基準を達成しているか。			A	適合	
2	【Ⅱ-①】 大学の理念・目的に基づき、大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。			A	適合	
3	【Ⅱ-②】 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編成しているか。			B	改善課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師以外の医療職の積極的な教育への参加</li> <li>・教育・研究・診療の適切なエフォート分配</li> <li>・授業担当者の負担に対する状況調査と事務的なサポート</li> </ul>
4	【Ⅱ-③】 教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。			B	改善課題	教員の採用や昇任について、職位に対する基準が厳格に運用されていないため、教授会での審議を含め見直しの検討を要する。
5	【Ⅱ-④】 ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。			B	改善課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FDにおける「義務化」の基準および受講者の知識習得度の把握と受講後の評価</li> <li>・教員の定期的かつ客観的な総括的評価と形成的評価の実施</li> </ul>
6	【Ⅱ-⑤】 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。			B	改善課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員組織の適切性の点検・評価において、適格性を検証するためのシステムの整備</li> <li>・学長・副学長会議における評価のためのシステム構築</li> <li>・学長主導による編制の変更をするための手順の見直し</li> </ul>
7	【Ⅲ-1】 長所・特色の記載内容は適切である。			A	適合	「世界に通用する医療人」を具体的なコンピテンシーの形で明記する必要があるが、その際は本学に期待される社会からの要請を認識し、開学以来の現実を見据えて社会における役割に準じ地に足のついた目標を持つことが望まれる。
8	【Ⅲ-2】 問題点の記載内容は適切である。			A	適合	自己点検評価の作業はごく一部の教員で行われているため、周知が不十分である。
9	【Ⅲ-3】 全体のまとめの記載内容は適切である。			A	適合	組織運営とその評価・改善のための様々なシステムは肩書を変えた教職員が兼任することが多く、またその職位も主任教授が多い。つまり運営者が評価者を兼ねているため本来望ましくない。必要に応じて学生や多職種を含め広い世代から評価者を募り、多様な視点を担保する仕組みへ徐々に進化することが望まれる。
10	【Ⅲ-4】 Ⅲ-2とⅢ-3は連関している。			S	適合	

基準 7 学生支援（「学生支援・学修環境」領域）

NO	項目	中長期計画		評価基準		領域に対する助言・改善の提案
			領域			
1	【Ⅰ】 活動内容が本学の達成基準を達成しているか。			A	適合	点検・評価が適切に行われ改善に結びついているかの客観的評価は、各種会議体で実施例として報告されているが、その報告事項を全て評価するまでには至っておらず完全とは言えない。
2	【Ⅱ-①】 学生が学習に専念し、安定した学生生活を送ることができるよう、学生支援に関する大学としての方針を明示しているか。			A	適合	
3	【Ⅱ-②】 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	<p>I 共,(4),①,i,7 I 共,(4),①,ii,7 I 共,(4),①,ii,i I 共,(4),①,iii,7 I 共,(4),①,iv,7 I 共,(4),①,iv,i</p> <p>I 医,(7),①,i,7 I 医,(7),①,i,i I 医,(7),①,i,7 I 医,(7),①,i,i I 医,(7),②,i,7</p> <p>I 看,(7),①,i,7 I 看,(7),①,i,i I 看,(7),①,ii,7 I 看,(7),①,ii,i I 看,(7),①,ii,7 I 看,(7),①,iii,7 I 看,(7),①,iii,i I 看,(7),①,iv,7 I 看,(7),①,iv,i</p> <p>I 研,(7),①,i,7 I 研,(7),①,ii,7 I 研,(7),①,ii,i I 研,(7),①,ii,7 I 研,(7),①,iii,7 I 研,(7),①,iii,i</p>	教育	A	適合	<ul style="list-style-type: none"> <li>「東京医科大学医学部奨学金貸与規程」において「成績優秀」および「経済的困難」という曖昧な表現について検討が必要と思われる。</li> <li>医学科における研修病院選定におけるマッチングの情報収集は、卒業生の任意の情報共有のみに依存しており、組織的な追跡調査はされていない。さらにマッチングへの対策なども教員および学生が個々で進めているだけであり、看護学科を含めて大学全体としての組織的な就業支援体制の構築が必要である。</li> </ul>
4	【Ⅱ-③】 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。			B	改善課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>奨学金の支援によって、学生生活および修学環境に「改善を持たせられたか」が評価されていない。今後の支援者選定方法の改善のためにもデータ収集が求められる。</li> <li>体に障がいを持っている学生やLGBTQの学生に対する支援の評価がまだ少ない。</li> <li>「内部質保証のシステム」に基づいた学習支援、生活支援、キャリア支援等全般にわたる、各種会議体や組織から回収されたデータについて、教育IRセンターによる統計学的解析、科学的なさらなる自己点検・評価が求められる。</li> </ul>
5	【Ⅲ-1】 長所・特色の記載内容は適切である。			S	適合	
6	【Ⅲ-2】 問題点の記載内容は適切である。			S	適合	
7	【Ⅲ-3】 全体のまとめの記載内容は適切である。			S	適合	
8	【Ⅲ-4】 Ⅲ-2とⅢ-3は連関している。			S	適合	

基準 8 教育研究等環境（「学生支援・学修環境」領域）

NO	項目	中長期計画		評価基準		領域に対する助言・改善の提案
			領域			
1	【Ⅰ】 活動内容が本学の達成基準を達成しているか。			A	適合	
2	【Ⅱ-①】 学生の学習や教員による教育研究活動に関して、環境や条件を整備するための方針を明示しているか。			A	適合	
3	【Ⅱ-②】 教育研究等環境に関する方針に基づき、必要な校地及び校舎を有し、かつ運動場等の教育研究活動に必要な施設及び設備を整備しているか。	I 共.(3),①,i,7 " iv,7 " vi,7 " vi,4 I 共.(3),②,i  I 研.(6),①,i,7 " i,7	教育	A	適合	
4	【Ⅱ-③】 図書館、学術情報サービスを提供するための体制を整えているか。また、それらは適切に機能しているか。	I 共.(3),①,iii,7	教育	B	改善課題	・図書館スペースの絶対的不足による蔵書や歴史資料の管理および運用 ・職員の人員不足
5	【Ⅱ-④】 教育研究活動を支援する環境や条件を適切に整備し、教育研究活動の促進を図っているか。	II 研.(1).ii.カ II 研.(3).i.エ " iv,7 II 研.(4).i.ウ " i.オ II 研.(5).i.ウ II 研.(6).i.7 II 研.(7).vii.7	研究	A	適合	
6	【Ⅱ-⑤】 研究倫理を遵守するための必要な措置を講じ、適切に対応しているか。	II 研.(1).ii.7 " ii.ウ " ii.エ " ii.オ " ii.カ	研究	A	適合	
7	【Ⅱ-⑥】 教育研究等環境の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。			A	適合	
8	【Ⅲ-1】 長所・特色の記載内容は適切である。			S	適合	
9	【Ⅲ-2】 問題点の記載内容は適切である。			S	適合	
10	【Ⅲ-3】 全体のまとめの記載内容は適切である。			S	適合	
11	【Ⅲ-4】 Ⅲ-2とⅢ-3は連関している。			S	適合	



基準10 大学運営・財務（「管理運営・財務」領域）(1)大学運営

NO	項目	中長期計画		評価基準		領域に対する助言・改善の提案
			領域			
1	【I】 活動内容が本学の達成基準を達成しているか。			A	適合	
2	【II-①】 大学の理念・目的、大学の将来を見据えた中・長期の計画等を実現するために必要な大学運営に関する大学としての方針を明示しているか。	V.(7).③.i.4	管理	S	適合	
3	【II-②】 方針に基づき、学長をはじめとする所要の職を置き、教授会等の組織を設け、これらの権限等を明示しているか。また、それに基づいた適切な大学運営を行っているか。	V.(1).①.i 〃 ①.ii 〃 ②.i 〃 ②.ii 〃 ④.ii	管理	A	適合	
4	【II-③】 予算編成及び予算執行を適切に行っているか。	V.(4).①.i.7	管理	A	適合	
5	【II-④】 法人及び大学の運営に関する業務、教育研究活動の支援、その他大学運営に必要な事務組織を設けているか。また、その事務組織は適切に機能しているか。			A	適合	
6	【II-⑤】 大学運営を適切かつ効果的に行うために、事務職員及び教員の意欲及び資質の向上を図るための方策を講じているか。	V.(3).③.i.7 V.(3).③.i.4	管理	A	適合	
7	【II-⑥】 大学運営の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	V.(7).④.i.7 〃 ④.i.7 〃 ④.ii.7 〃 ④.ii.4 〃 ④.iv.7	管理	A	適合	
8	【III-1】 長所・特色の記載内容は適切である。			S	適合	
9	【III-2】 問題点の記載内容は適切である。			S	適合	
10	【III-3】 全体のまとめの記載内容は適切である。			S	適合	
11	【III-4】 III-2とIII-3は連関している。			S	適合	

基準10 大学運営・財務（「管理運営・財務」領域）(1)財務

NO	項目	中長期計画		評価基準		領域に対する助言・改善の提案
			領域			
1	【Ⅰ】 活動内容が本学の達成基準を達成しているか。			A	適合	
2	【Ⅱ-①】 大学運営を適切かつ効果的に行うために、事務職員及び教員の意欲及び資質の向上を図るための方策を講じているか。	V.(5).①.i.カ // ②.i.7 // ②.iii.7 // ③.iii.7 // ④.iii.7 V.(7).③.i.1	管理	A	適合	
3	【Ⅱ-②】 大学運営の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	II.(1).i.7 II.(3).vi.7 II.(5).i.7	研究	A	適合	
4	【Ⅲ-1】 長所・特色の記載内容は適切である。			S	適合	
5	【Ⅲ-2】 問題点の記載内容は適切である。			S	適合	
6	【Ⅲ-3】 全体のまとめの記載内容は適切である。			S	適合	
7	【Ⅲ-4】 Ⅲ-2とⅢ-3は連関している。			S	適合	